



演題：高分子の自己組織化分子技術と微細加工

講師：早川 晃鏡 先生

東京工業大学大学院理工学研究科有機・高分子物質専攻、

JST さきがけ【分子技術と新機能創出】領域（兼任）

日時：2015年7月10日（金）15:00~16:20

場所：工学部材料・化学棟 MC030

共催：高分子学会北海道支部、北海道大学 Ambitious リーダー育成プログラム（ALP）

要旨：有機高分子材料研究の醍醐味のひとつに、分子の自己組織化に基づいた構造形成とそれに基づく機能物性に関する研究がある。自己組織化技術は過度なエネルギーを必要とせず、低コスト、省資源で材料の機能化を図ることができる。とくに近年では、高分子薄膜の研究分野において、自己組織化現象と微細加工を巧みに利用したナノ材料の創製研究が注目されている。本講演では、これらに関わる研究の一例として、ブロック共重合体のミクロ相分離現象を利用した“ブロック共重合体リソグラフィ”と“メソポーラスポリイミド”を取り上げ、最新のデータと共に紹介したい。

「本講演は、大学院総合化学院『応用化学特別講義 生物機能高分子特別講義 2015』の一部として認定されています。」

連絡先：工学研究院応用化学部門 佐藤 敏文（内線：6606）